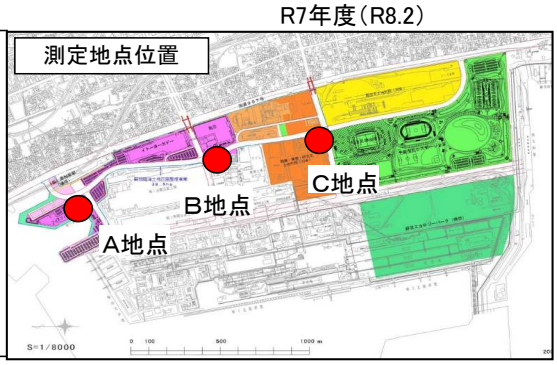
JFEスチール東日本製鉄所（千葉地区）における大気環境状況測定結果

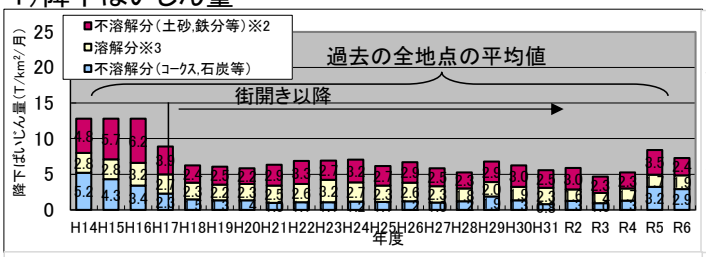
R7年度（R8.2）

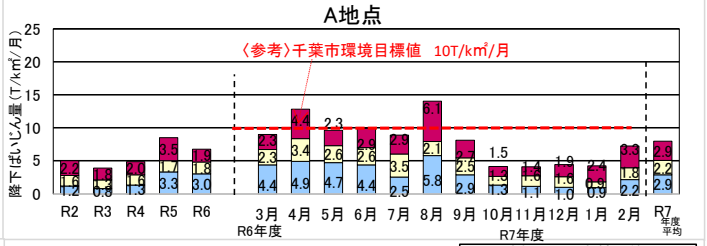
当所敷地境界における大気環境状況につきまして
R7年度は、以下の内容で調査しております。
・測定地点： A、B、C 3地点 （右図参照）
・測定項目：1）降下ばいじん量
2）悪臭
3）ベンゼン
・測定頻度：1）降下ばいじん量：1月単位 2）悪臭：1回/2週間 3）ベンゼン：1回/1週間

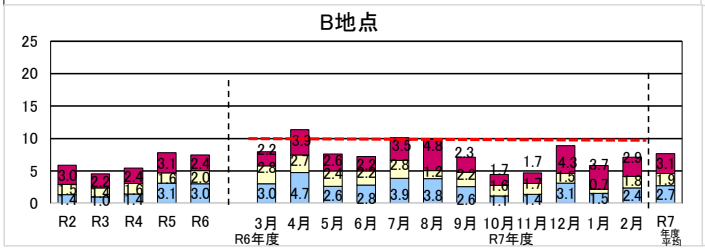
なお、各項目の分析業者は、以下のようになっております。
1）降下ばいじん量：日廣産業（株）環境技術センター
2）悪臭：JFE東日本ジーエス（株）環境分析調査センター
3）ベンゼン：JFEテクノリサーチ（株）分析・解析技術Division 分析評価・解析センター

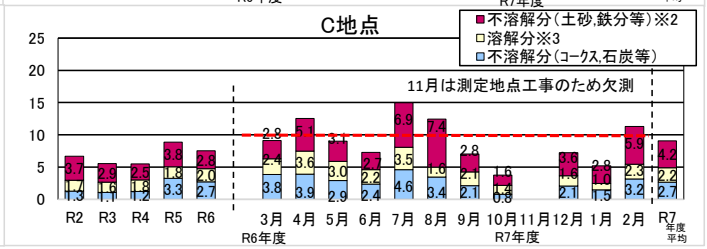


1）降下ばいじん量









<参考>
千葉市環境目標値は、千葉市環境基本計画において以下の通り設定されております。
R4年3月迄 月間値20（t/km²/月）以下 かつ 年平均値が10（t/km²/月）以下
R4年4月以降 月間値10（t/km²/月）以下

※1 過去の測定データにつきまして、
1）各年度のデータの測定期間は以下のようになっております。
・H14年度はH14.10～11、 ・H15年度はH15.3、
・H16年度はH16.6～H17.3、 ・H17年度はH17.5～H18.4（街開き後1年間）
2）各測定地点の位置、個別のデータ詳細につきましては当該年度の、『測定結果一覧表』 をご覧下さい。
※2 不溶解分（土砂,鉄分等）には、周辺の道路、土地の造成等の要因、製鉄由来の鉱石、スラグ等が含まれる。
※3 溶解分：ナトリウム、マグネシウム等の可溶成分。海域からの飛来する塩分が主体。

2）悪臭

臭気濃度測定結果

		R7.4	R7.5	R7.6	R7.7	R7.8	R7.9	R7.10	R7.11	R7.12	R8.1	R8.2	R8.3
A地点	N数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
	協定値（※4）達成数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
	臭気濃度最大値	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	
	臭気濃度最小値	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	
B地点	N数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
	協定値（※4）達成数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
	臭気濃度最大値	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	
	臭気濃度最小値	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	
C地点	N数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
	協定値（※4）達成数	2	2	2	1	2	2	2	2	2	2	2	
	臭気濃度最大値	10未満	10未満	10未満	25※6	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	
	臭気濃度最小値	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	

※6 測定当日の風向きは南南東、観測された臭質は煤臭でした。

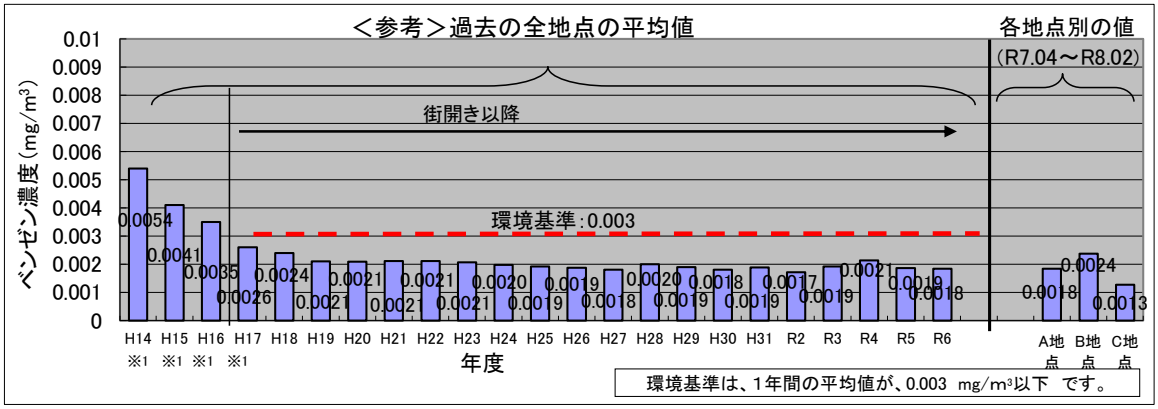
＜参考＞過去の全地点の測定値

	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
N数	72	72	72	72
協定値（※4）達成数	72	72	72	72
臭気濃度最大値	14	16	20	10未満
臭気濃度最小値	10未満	10未満	10未満	10未満

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
N数	72	72	72	72
協定値（※4）達成数	72	72	72	71
臭気濃度最大値	11	16	16	25※5
臭気濃度最小値	10未満	10未満	10未満	10未満

※4 悪臭の協定値は、敷地境界20以下です。

※5 測定当日の風向きは北東、観測された臭質は下水臭でした。

3）ベンゼン

A, B, C地点
R7.04～R8.2における
N=47の平均値